たかがみねこども園

園 だ よ り

令和６年３月１日

早いもので今年度も最後の月となりました。１年を振り返ると、「あんな事があったな」「こんな事があったな」と子どもたちとの思い出が昨日のことのように感じます。一人ひとり自分のペースで大きくたくましく成長したのではないでしょうか。残りの１か月も一日一日を大切にしながら、笑顔で過ごしたいと思います。そして、この一年、保護者の皆さまのご協力があってこそ、無事に過ごすことができました。改めて、ありがとうございました。

～　３月の目標　～

・お友だちを互いに信頼し合い、仲間意識を高める。

・進学、進級にむけて衣服の着脱、整理整頓、挨拶など自分の事は積極的に自分でできるようにする。

ワクワク夢中で遊ぶことでいろいろな力が身につく

「プレイフルラーニング」という言葉を聞いたことはありますか？これは“夢中で遊ぶことにこそ、学びがあふれている”という意味の言葉です。遊びは学習と違い、自分の興味に従って自由に遊ぶことができます。自由だからこそ、「想像力や考える力」が、ワクワク・ドキドキ夢中になれるからこそ、「意欲や集中力」が身につくのです。

【大切なこと】

１．手を出さずに見守りましょう

子どもが遊んでいる時、大人はつきっきりで見なければいけないと思いがちですが、そんなことはありません。関わりすぎると集中を妨げることになるため、適度な距離で遊びを見守るようにしましょう。また、ついつい『こう遊ぶのよ』と遊び方を押し付けたり『もっとこうしたら？』と口出ししていませんか？大人から見ると『これって遊びなの？』と思うことでも、子どもにとっては楽しい遊びです。子ども自身が考えて試行錯誤できるよう、大人は適度に見守り、気持ちに寄り添う姿勢が大切です。何でどう遊ぶかを決めるのはあくまで子ども。この経験が、考える力や想像力を育むことにつながります」。

２．声かけはグッと我慢しましょう・褒めるときは的確に褒めましょう

子どもが遊びに夢中になっている時は集中している証。大人はつい声をかけがちですが、我慢をして見守ることが大切です。集中しているときの声かけは気をつけたいものですが、褒める言葉はどんどんかけて構いません。子どもにとって親に認められることは、自己肯定感や自信につながります。とはいえ、何でも『すごい、すごい』と褒めておけば自己肯定感が高まるわけではありません。大切なのは、的確に褒めること。『この前よりも上手になったね』などと遊び方の変化や成長ぶりを言葉にするのがポイントです。

３．想像力を働かせて遊べるおもちゃを選びましょう

自由に遊べるおもちゃや、遊び方を変化させることができるおもちゃがあると、子どもの想像力が育まれ、大人が思ってもいない遊び方をするなど遊びの幅が広がります。特別におもちゃを買う必要はなく、身近にあるものを取り入れて工夫しながら遊べるといいですね。男の子だから、女の子だからなどと性別でおもちゃを限定するのではなく、その子の興味のある遊びを見極めて、おもちゃを選んであげましょう。